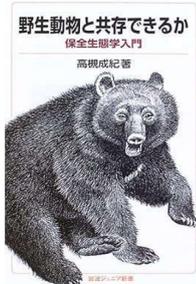


皆さんの今年一番良かったと思う本はなんでしたか？2026年も素敵な本と出会えますように♪

『野生動物と共存できるか：保全生態学入門』

高槻成紀 著 081.9/イ/536(b)



ラッコが駆除対象となった理由は、漁業に被害を与えるという理由でしたが、ラッコを駆除すると共に魚の数も減る結果となった。それはなぜでしょうか？今年に入ってから異例のクマ被害件数や、都会にやってくるシカやサルなど、野生動物に対する対策が急がれる今日。私たちが野生動物とどう関わればいいのかを考えさせられる一冊です。

『人間の心が分からなかった俺が、動物心理学者になるまで』

岡ノ谷一夫 著 289.1/O



小学生のとき、ある日突然人間がロボットに見えた著者。症状は改善したものの、それから人との距離の取り方が下手なままな状態に。研究の想い止まず日本を飛び出したは良いものの、留学先のアメリカでは苦労の連続。日本に帰っても苦労は続き、それでも著者は一歩ずつ研究者への道を歩み始めます。人間嫌いの少年がジューシマツの歌文法を発見するまでを綴った、抱腹絶倒の青春記です。

『水族館飼育員のただならぬ裏側案内』

なんかの菌 著 480.76/N



『水族館飼育員のキッカケな日常』に続き、今回も水族館愛倍増の一冊。飼育員と生きものの攻防、展示一つひとつにかかる情熱と熱意、その裏側を知ったら水族館に行きたくなります。水族館のマル秘見どころや裏側エピソードを紹介。一生懸命に愛と情熱をほとばしらせ奮闘する飼育員や職員たちのパワー、恐るべし。ようこそ、水槽の奥のディープな世界へ！

『短歌のガチャポン』

穂村弘 著 911.167/H



現代短歌のフロントランナー穂村弘が腕によりをかけて、明治から現在までの短歌100首を選出。美しい短歌、へんな短歌、不気味な短歌、切ない短歌。好きなところからひとつずつ取り出しているの、自由な短歌世界をとことん楽しめます。意味のわからない短歌も、穂村弘の切れ味の良い解説文を読めば楽しめます。短歌の楽しさと自由さを味わってみてください。

『パーマネント神喜劇』

万城目学 著 913.6/マ



直木賞作家・万城目学さんによる、庶民的なおっちゃん神様(担当:恋愛成就その他色々)と、そんな彼にインタビューと称して付け回す謎の眼鏡スーツ男が巻き起こす小さな奇跡の不思議な物語です。そして最後にウルっとさせてくれる万城目ワールド炸裂な庶民派神様物語です。なんと、作中に過去作品に登場の『かのこちゃん』が登場します。

『ザ・エッセイ万博』

万城目学 著 914.6/M



『万』がつく万城目学エッセイシリーズ。大阪万博のことを綴っているのかと思いきや、最後の話だけが万博関連で、他は想像話や訪問先での記録が面白おかしく書かれています。京都にまつわる偉人野球チームを想像してみたり、ひとり出版社を立ち上げてみたり、中でも憧れのchage(チャゲ&飛鳥)との対談にてアルバム曲の歌詞を書いた話は、著者の嬉しさがこちらにまで伝わってきます。

『すべてを蒸したいせいろレシピ』

りよ子 著 596/R



家にある食材を適当に切って、せいろに詰めて蒸すだけ。どんな食材も、おいしく蒸し上がります。素材本来のうまみが引き出されるので、余計な調味料を使わなくても十分においしい。え、こんなものも蒸しちゃうの？と驚くような意外なせいろレシピを沢山ご紹介！一年中使える簡単せいろ蒸しレシピを紹介した一冊です。

『11ぴきのねこふくろのなか』

馬場のぼる 著 P91/B



遠足に出かけた11ぴきのねこたち。行く先々に、「花をとるな」「橋をわたるな」などの禁止の立て札が出てきます。が、ねこたちは立て札に書いてある注意を無視して、花をとり、危険な橋をわたって…しまいには「入るな」と書いてある大きな袋に入ってしまい…。

今月の新着から



■0 総記

『読書が苦手だった司書が教える世界一かんたんな図書館の使い方』 つのだ由美こ 著 015/T

■2 歴史

『御家騒動』 福田千鶴 著 210.5/7

■3 社会科学

『小泉八雲と水木しげるに学ぶ異界の歩き方』 小泉凡 監修 388/K

■4 自然科学

『岩波科学ライブラリー337 幻のネズミ、消えたY性の進化の謎を追う』 黒岩麻里 著 408/I/337

『めくるめく元素。』 宇田亮子 三枝栄子 良永裕佳子 著 431.II/U

■5 技術

『図解でわかる14歳からの金融リテラシー』 一般社団法人社会応援ネットワーク 著 591/S

■6 料理

『台湾の朝ごはんが恋しくて』 台湾大好き編集部 著 673.97/T

■9 文学(日本)

『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ 著 913.6/Asa

『エレジーは流れない』 三浦しをん 著 913.6/ミ

『十年屋8 黄昏時のお客様』 廣嶋玲子 著 佐竹美穂 絵 913.8/Hiro

『はたらく言葉たち① ②』 パラドックス 編 914/P/I/2

■9 文学(海外)

『ハリネズミ・モンテカルロ食人記・森の中の林』 鄭執 著 関根謙 訳 923.7/Z

『ビスケット』 キム・ソンミ 著 矢島暁子 訳 929.13/K

『日々の泡』 ボリス・ヴィアン 著 曾根元吉 訳 953.7/ウ

■新書

『難聴を生きる：音から隔てられて』 宿谷辰夫 宇田川芳江 編 080/I/2082

『逃げ続けたら世界一周していました』 白石あづさ 著 081.9/1/1004

『アーティスト六法：日本一わかりやすいエンタメ法律ガイド』 上野祐平 著 770.9/ウ

■絵本

『森の景色屋』 宮崎文寧 文 ながおかえつこ 絵 P91/N

『なんのサンドイッチ？』 たなかひかる P91/T

『ねこになりたかったクモのルイーゼ』 ミシェル・ヌードセン さく ケビン・ホークス え 福本友見子 やく P93/H

—お知らせ—

①【10冊貸出が始まります】
12月12日(金)～12月17日(水)まで
たくさん読みたい人は、ぜひこの機会を利用
しましょう。

②12月22日(月)～12月24日(水)は、
図書館の機材の入れ替えのため、本の貸出が
できません。返却は受け付けます。
ご注意ください。

よろしく申し上げます。

